

交通安全シミュレータ 危険予測 自動車編



可搬性を確保しつつ本格的な運転体験を提供

仮想現実の世界に広がった市街地で、危険を予測しながら自動車シミュレータを運転して危険感受性を高めます。認知・判断機能の低下などを確かめる運転能力診断機能も実装、特に高齢ドライバーの事故防止に大きな効果が期待できます。



リアルなコントローラ

自動車のハンドル・ペダルを簡易的に再現しつつ、可搬性を確保した仕様。運転体験に必要な不可欠なウィンカー・ワイパーレバーを備え、各スイッチの動作はシミュレータ上に反映される。

例 体験内容のイメージ



- A** 後方の安全確認
ルームミラー・ドアミラーには、後ろから来る車やバイク等が写ります
- B** 対向車
駐停車車両の側方で衝突してしまうかもしれません
- C** 駐停車車両
陰から歩行者が飛び出してくるかもしれません

多種多様な交通場面

30種類以上の交通場面を収録し、「実際の交通場面に存在する危険」を数多く設定しています。同じ「サンキュー事故」でも、ビル街で発生した場合、農村で発生した場合など多彩なパターンを収録しています。これにより、さまざまなケースを想定した危険予測学習が可能です。

体験内容の例

- 一時停止のある見通しの悪い交差点
- 駐停車車両の側方通行
- 交差点の右折・左折
- コリジョンコース現象
- 駐車場内での事故
- 環状交差点の走行



さまざまな機能

リプレイ



体験後に、自分の運転をリプレイで確かめることができます。第三者の視点になって振り返ることで、自分の運転の見直しと危険ポイントの再確認ができます。

体験内容を診断・表示



運転体験の結果に応じて、事故・ヒヤリハット・交通違反等の回数と発生状況を診断し、安全運転のためのアドバイスが受けられます。また、結果については、画面表示・プリントアウトも可能です。

プロジェクター出力

プロジェクター等へ映像を外部出力できます。集合教育の際、体験者以外の参加者にも画面を見せることができ、より多くの人数に対して効果的な教育が可能です。

体験の流れ (自動車編)

※指導者がコースを選択する場合。体験者自らコースを選択することも可能



1 体験コースの選択

指導者がタッチパネルで体験するコースを選択します。



2 運転体験

ハンドル、アクセル・ブレーキペダルを操作して運転体験をスタートします。



3 結果表示・出力

走行結果を総合的に診断し、5段階で評価します。オプションでプリントアウトも可能です。

豊富な活用事例

本シミュレータは、子どもや高齢者を対象にした交通安全教室での活用をはじめとし、ショッピングモールやイベント会場、企業の従業員研修などでも幅広く活用されています。

多くの体験者がシミュレータに対して強い興味・関心を示していただいているだけでなく、当協会のノウハウに基づく指導カリキュラムについても高い評価をいただいています。



子ども向け（小学校）



高齢者向け（公民館）



親子向け（屋内施設）



社員研修でヘッドマウントディスプレイを活用



社員研修での活用



交通安全イベントへの出展



ヘッドマウントディスプレイ (VR) を活用した例



交通安全シミュレータ体験車への搭載



交通安全シミュレータ体験車への搭載



高校生自転車安全教室



高齢者向け交通安全セミナー



小学生、高齢者を対象にしたカリキュラム例

小学生を対象にした活用事例

時間 **45分** ねらい

- 歩行中の交通事故防止を目的として、安全な道路の渡り方をシミュレータで学習する
- 危険予測や安全確認の重要性を認識し、日頃の交通行動で実践できるようにする など

1 導入 2分	2 学習 8分	3 体験 25分	4 まとめ 10分
ねらいや手順を具体的にわかりやすく説明	交通ルールの必要性をスライドやクイズを用いて解説	シミュレータを6~8人1組で体験し、危険感受性を高める	内輪差事故の危険性などを学習し、危険予測・安全確認の重要性を確認

高齢者を対象にした活用事例

時間 **60分** ねらい

- 歩行中の交通事故防止を目的として、道路歩行の危険性をシミュレータで体験する
- 体力測定やゲーム等を通して加齢に伴う身体機能や認知・判断力の変化を自覚する など

1 導入 1分	2 学習 14分	3 体験 40分	4 まとめ 5分
ねらいや手順を具体的にわかりやすく説明	簡単なゲームで、加齢に伴う能力の低下が及ぼす影響を解説	シミュレータの体験を通して、危険感受性を高める／開眼片足立ち・反応力ゲームを実施、自分自身の今の状態を自覚	歩行中の危険予測の重要性や加齢に伴う身体機能の変化について確認